

CBLCFMA 電流フィードバックモニターケーブル

このケーブルは電気刺激で流れる電流のモニタリングを可能にし、どの BIOPAC 刺激装置でも使用できます。

CBLCFMA は、電圧刺激装置と使用することが推奨されています。



STMISO 刺激装置に CBLCFMA を接続するには：

1. 1.5mm 雌型タッチプルーフリード線を刺激装置の“-”入力に接続します。
2. 1.5mm 雄型タッチプルーフリード線と電極リード線を接続します。
3. 3.5mm モノフォンプラグを UIM100C*、STMISO もしくは INISO/HLT100C に接続します。(STMISO には直接接続します。その他の刺激装置にはアダプタが必要となります。)

*3.5mm モノフォンプラグは、MP160/150 システムの未使用のアナログチャンネルに接続します。被験者にその他の電氣的接続がない場合、UIM100C に直接接続することが可能です。その他の電氣的接続がある場合（例：ECG、EDA、EMG など）、CBLCFMA は INISO を介して HLT100C に接続してください。

重要：電気刺激を開始する最低でも 10 分前に被験者に電極が取り付けられているか常に確認してください。被験者に流れる実際の電流をモニター、記録するには CBLCFMA を使用します。被験者に流れる電流の変化により、刺激の主観的知覚が変化します。従って、閾値よりも大きな電流が流れる場合は不快なショックだけでなく痛みを伴います。もしくは閾値より少ない電流が流れる場合は刺激の効果がなくなる可能性があります。流れる電流のレベルの変化は、インピーダンスの変化に起因します。インピーダンスの変化は複数の要因に起因する可能性があります：ゲルが時間の経過と共に皮膚を飽和状態にする、(長時間にわたって)ゲルが乾燥する、被験者の水和レベル、発汗、モーションアーチファクトに起因する電極と皮膚の分離など。

仕様

フィードバック定数：1 V=10 mA

リード線：1.5mm 雄型タッチプルーフ及び 1.5mm 雌型タッチプルーフ

抵抗：100Ω 1% MF 1W 抵抗 (TP リード線間に直列)

コネクタ：3.5mm モノフォンプラグ

ケーブル長：2m

参照：STMISO 刺激装置